

2016年8月2日
横浜ウォーター株式会社

「パキスタン国ファイサラバード上下水道・排水 マスタープランプロジェクト」受託

横浜ウォーター株式会社（本社：横浜市中区相生町 6-113、社長：五十川 健郎）は、平成28年7月1日付で、独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施する技術協力プロジェクト「パキスタン国ファイサラバード上下水道・排水マスタープランプロジェクト」を受託しました。

【事業の概要】

パキスタン国ファイサラバード市の上下水道事業は、上水道水源の98%を井戸水源に頼っており、急激な人口増に対し、高い電力料金及び低い料金徴収率等に起因する施設容量や運転コスト財源の不足により低い水道普及率及び時間給水に留まっています。このような状況を改善するため、ファイサラバード上下水道公社（WASA-F）は、持続的な上下水道事業運営、表流水の適切な利用に向けた水資源開発、既存施設の適切な維持管理を目指す長期的な事業計画の策定が求められています。

かかる状況を踏まえ本プロジェクトは、ファイサラバード上下水道・排水マスタープランの策定支援及び計画策定プロセス並びに無収水削減に係るパイロット活動を通じた実施機関の能力向上を目指して技術協力を行うものです。

本事業では、当社が有する上下水道事業に係るノウハウを活用し、マスタープラン策定及びパイロット活動に貢献するものです。

- ① 活動期間：平成28年7月上旬～平成31年7月上旬
- ② 参加企業：株式会社日水コン（代表者）
日本テクノ株式会社（構成員）
横浜ウォーター株式会社（構成員）
- ③ 主な事業内容：
 - (ア) 既存情報のレビュー、上下水道・雨水排水事業の課題整理
 - (イ) マスタープランの基礎となる上下水道事業運営改善のための実施計画、優先プロジェクトの選定、予備的施設設計
 - (ウ) パイロット活動計画の作成、実施、評価、提言取りまとめ
 - (エ) 本邦研修等

当社は、自治体の有する水事業ノウハウを活かして、国内外への技術協力等を通じて事業運営に貢献するとともに、持続性の高い上下水道事業運営や官民連携事業の創出を追求して参ります。

以上



本件に関するお問い合わせ：toiawase@yokohamawater.co.jp